

09-03-1130 ベント設備設置・撤去

ベント設備設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。なお、ベント用足場の組立・解体労務を含む。

表3.11.3 ベント設備設置・撤去歩掛

使用機械	日当り施工量		構成人員		諸雑費率(%)
	Dt (t/日)				
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排対型(第2次) 25t吊	$Dt = \frac{T}{0.13T + 1.6}$		橋りょう世話役	1	備考4 1 (0.7)
			橋りょう特殊工	5	
ケーブルクレーン	$Dt = \frac{T}{0.22T + 1.4}$		橋りょう世話役	1	備考4 5 (0.5)
			橋りょう特殊工	6	
			普通作業員	1	

A：ベント総質量 (t)

備考 1 クレーン賃料、架設工具損料等は09-03-1300により別途計上する。

2 ベント基礎は、現場状況に応じて積算し別途計上する。

3 現場条件によりラフテレーンクレーンの規格が上表により難しい場合は、現場条件に適した規格を選定する。

4 諸雑費は、発動発電機を使用した場合の燃料・油脂等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、商用電源を使用した場合は商用電料として () 内の率を乗じた金額を上限として計上する。

5 日当り施工量Dtは、小数点以下第2位を四捨五入し、1位止めとする。

6 ベント用足場の供用1日当り損料はベント設備供用1日当り損料に付表1の率を乗じたものを上限とし、供用日数はベント設備供用日数と同等として計上する。ただし、平均ベント高さ2m未満の場合は計上しない。

付表1 ベント用足場のベント設備損料に乗ずる率

平均ベント高さh (m)	ベント設備損料に乗ずる率 (%)
2以上~30未満	6

09-03-1140 ベント基礎設置・撤去

鋼板によるベント基礎設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。

表3.11.4 ベント基礎設置・撤去歩掛

使用機械	日当り施工量		構成人員 (人)	
	Da (m ² /日)			
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排対型(第2次) 25t吊	$Da = \frac{A}{0.011A + 0.55}$		橋りょう世話役	1
			橋りょう特殊工	4

A：ベント基礎の延べ面積 (m²)

備考 1 鋼板規格は、鋼板厚さ22mmを標準とする。

2 整地が必要な場合は、現場状況に応じて別途積算のうえ計上する。

3 鋼板損耗費を別途計上する。

4 現場条件によりラフテレーンクレーンの規格が上表により難しい場合は、現場条件に適した規格を選定する。

5 日当り施工量Daは整数止めとし、小数第1位を四捨五入する。

6 ベント基礎の延べ面積 (A) は次式による。

$$A = \sum A_i$$

$$A_i = (B + 2) \times 3$$

ただし、A_i：ベント1基当りの基礎の面積

B：外桁～外桁間隔 (箱桁は外Web～外Web間隔) (m)

なお、A_i、Bとも、小数点以下第2位を四捨五入し、1位止めとする。

~~5~~ 鋼板供用1日当り損料については、ベント設備供用1日当り損料に付表2の率を乗じるものとする。なお、鋼板供用日数は、ベント設備供用日数と同等とする。

(3) 敷均し補助労力

12-01-100 非舗装前提の路盤工と同じとする。

(4) 敷均し、締固め合成作業量 (QT)

12-01-100 非舗装前提の路盤工と同じとする。

ただし、ブルドーザ合成作業量及びバックホウ敷均しは次のとおりとする。

$$QT = \frac{Q1 \times Q2}{Q1 + Q2}$$

QT : 時間当たり敷均し締固め作業量 (m³/h)

Q1 : 時間当たり敷均し作業量 (")

Q2 : 時間当たり締固め作業量 (")

表2.8 敷均し、締固め合成作業量

作業幅員 (車道幅員)	機種・規格	合成作業量 (QT)		敷均し (Q1) (m ³ /h)	締固め (Q2) (m ³ /h)	摘 要
		(h/100m ³)	(m ³ /h)			
W ≥ 4.0m	ブルドーザ 15 t	3.52	28.4	69.6	—	表1.2
				—	48.0	表1.4
1.0 ≤ W < 3.0m	バックホウ 0.8(0.6)m ³	2.57	38.9	38.9		表2.7
W < 1.0m	バックホウ 0.8(0.6)m ³	2.57	38.9	38.9		表2.7

5 単 価 表

12-02-210 凍上抑制層 (砂・火山灰) (W ≥ 4.0m) (参考)

(100m³当たり)

材料種別	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
砂	路 盤 材		m ³		表2.6
	ブルドーザ運転	15 t	h	3.52	表2.8
	普通作業員		人	0.30	表1.5
	計				
火山灰	路 盤 材		m ³		表2.6
	ブルドーザ運転	15 t	h	1.44	表1.6
	タイヤローラ運転	普通型・排出ガス対策型 8 ~ 20 t	〃	1.39	表1.6
	普通作業員		人	0.30	表1.5
	計				

備考 Wは作業幅員 (車道幅員) とする。

12-02-220 凍上抑制層 (砂・火山灰) (3.0 ≤ W < 4.0m) (参考)

(100m³当たり)

材料種別	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
砂・火山灰	路 盤 材		m ³		表2.6
	ブルドーザ運転	3 t	h	4.78	表1.6
	タイヤローラ運転	普通型・排出ガス対策型 8 ~ 20 t	〃	1.39	表1.6
	普通作業員		人	0.30	表1.5
	計				

備考 Wは作業幅員 (車道幅員) とする。

12-02-230 凍上抑制層（砂・火山灰）（ $1.0 \leq W < 3.0\text{m}$ ）（参考）

（100m³当たり）

材料種別	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
砂・火山灰	路 盤 材		m ³		表2.6
	バックホウ運転	0.8(0.6)m ³	h	2.57	表2.8
	振動ローラ運転	2.5~2.8 t	〃	10.75	表1.6
	普通作業員		人	0.30	表1.5
	計				

備考 Wは作業幅員（車道幅員）とする。

12-02-240 凍上抑制層（砂・火山灰）（ $W < 1.0\text{m}$ ）（参考）

（100m³当たり）

材料種別	名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
砂・火山灰	路 盤 材		m ³		表2.6
	バックホウ運転	0.8(0.6)m ³	h	2.57	表2.8
	タンパ運転	60~100kg	日	3.00	表1.6 5 h / 日運転
	普通作業員		人	3.30	表1.5 タンパ運転含む
	計				

備考 Wは作業幅員（車道幅員）とする。